

笑顔と

神奈川県立金沢養護学校

やさしい心



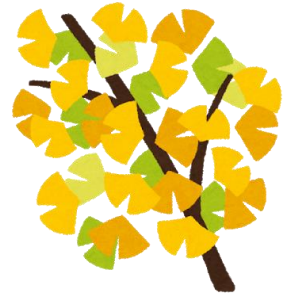
学校だより

かなざわ

第160号 令和2年9月30日

「めぐる季節」

令和2年度も半年が過ぎ、折り返し地点となりました。いつもとは違う生活様式の中で始まった学校、そして行動制限のされる日常生活で、ストレスも感じているところと思います。「夏休み」の過ごし方や楽しみ方もこれまでとは大きく異なり、学校や地域でも中止となった行事やイベントが多くありました。また、ご家族や関係機関の諸行事も同様であったことと思います。それでも8月24日（月）からは、残暑の厳しい中でしたが、新学期をスタートすることができ、学校内には、子どもたちの登校により活気が戻ってきました。新学期が始まってからも、感染症が身近なものであるとの認識をし、「安全と安心」を基本に考え、教育活動の充実を図っていきたいと思います。



このような状況なので、なかなか地域の皆様との接点を持たずに時間が過ぎていきました。学校ボランティアの皆様にも、その活動の受入を制限させていただいており、日ごろ様々な方々に学校が助けられていたのかを実感するこの頃です。

さて、通勤路の街路樹にあるイチョウの葉が黄色く色づいてきたことや朝夕の風も少しずつ気持ちよさが加わってきたことなど、「秋」を感じる季節となってきました。ただ、学校行事も精選せざるを得ない中、芸術、食事、スポーツ、行楽などが本格的に楽しめるこの季節の楽しみも半減している気もします。それでも、気持ちを前向きに、日々の諸活動を充実できるようにしたいものです。日ごろ何気なく歩いている場所を見渡してみるとあちこちで季節の変化を感じることができるとと思います。ぜひ、みなさんの「秋」を見つけてみてください。

そして、9月1日は「防災の日」でした。コロナ禍で様々なイベントなどは行われず、防災というワードが影をひそめていたかもしれませんが、9月に入ってからの大雨や台風の影響は記憶に新しいと思います。自分たちが、いざ避難となった際の居住地の状況を把握されているでしょうか。今一度「備え」と「行動」を各々が考え、確認しておくことが大切です。台風だけでなく、昨今局地的な大雨（ゲリラ雷雨）も見られます。携帯電話などでも情報がピンポイントで得られるなど、日常生活の中でちょっとした知恵を身につけながら、地域情報を確認し、災害対策、早めの行動に心がけていきたいものです。

この2学期も、社会情勢を踏まえ、教育活動を工夫しながら進めていくことになりませんが、どうぞ保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様のご理解とお力添えをお願いいたします。

校長 鈴木 英資